

## 8月22日（木）に行われた甘利大臣によるぶら下がり会見の冒頭発言

本日は、午前中にTPP閣僚会合、お昼にブルネイ主催の昼食会に出席した。そのあと、国王に謁見し、午後はブルネイ、マレーシアの大臣とバイ会談を行った。閣僚会合の冒頭、日本の参加に歓迎の意が表明された。

私からは、TPP交渉への我が国の基本的考え方を説明した。TPPは、①アジア太平洋地域に21世紀型の経済統合の新たなルールを構築する野心的な試みであること、②自由、民主主義、法の支配といった普遍的価値を有する国々とともにルール作りをすることは地域の安定に貢献すること、③本年中の交渉妥結という目標達成のため我が国も積極的かつ建設的に議論に参加すること、の3点を表明した。

各論については、簡単に触れると、まず、物品市場アクセスについては、「TPPの輪郭（アウトライン）」において示された包括的で高い水準の協定を達成していくという目標を我が国も共有すること、同時に、各国とも一定の製品についてセンシティブティを有しており、こうした製品の取り扱いについて、今後精力的に議論していきたいという考えを表明した。

また、TPPはモノだけではなく、サービス、投資、さらには知的財産、金融サービス、電子商取引、電気通信、国有企業の規律など幅広い分野で新たなルールを構築し、成長著しいアジア太平洋全体に大きなバリュー・チェーンを作り出すことを目指すものであり、こうした分野の交渉にも我が国として積極的に参加していく考えであることを発言した。

また、環境や労働など、新しい分野が含まれていることは21世紀型の経済統合を目指すTPPにとって重要な要素であり、この関連で、我が国の漁業補助金は国際的な水産資源の管理の観点からも重要な取組であるという我が国の考えをしっかりと表明した。

今日はこのあと、メキシコとバイ会談を行い、夜は日本主催で閣僚夕食会を開く。ブルネイを除いてすべての閣僚が参加する。明日の午前は引き続き各国閣僚とバイ会談、午後は再び全体会合でラップアップの予定である。ハードスケジュールだが、関係閣僚と精力的に議論を進め、また、閣僚同士の信頼関係を深めたい。

（以上）